

ほくピーたより

2022.01.01 号

北部病院 情報誌・第9号

北部病院キャラクター
「ほくピー」

発行・文責：渡邊 理香



院長からのごあいさつ



あけましておめでとうございます。

本年も医療法人原武会を何卒宜しくお願い申し上げます。

「ほくピーたより」も今回の新年号で創刊2周年を迎えました。

「先代が築いた伝統を基に、多職種の方々と連携しながら地域の保健・福祉・医療の発展のために努力したい」という思いに、さらに取り組みが不十分な点や行き届かない点も多くの方の意見を取り入れながら、病院改革に取り組んでまいります。今後も皆様の御意見をお寄せください。

ご周知のように、新型コロナの影響はまだ続いており、引き続き当院でも職員一丸となって感染対策を徹底してまいります。当院は「**支え・繋ぎ・心を動かす**」を3つのキーワードとして、患者さまや地域の方の心に寄り添った事業展開を心掛けています。「人を支える」医療、介護を通してよりよい人生を送る手助けをすること。「人と人を繋ぐ」多職種連携を通して最善、最適なサービスを提供すること。「人の心を動かす」疾病、障害とともに前向きに生きる手助けをすること。以上の3点を常に心に留めて各職員が業務に励んでまいります。

今後は病院施設の増改築も予定しており、ソフト面だけでなくハード面でも「支え・繋ぎ・心を動かす」病院を目指してまいります。最後になりますが昨年は会長 故 原 武司の逝去に際し、たくさんのお悔やみをありがとうございました。心より感謝申し上げます。



院長 渡邊 聖樹

新型コロナワクチン3回目接種について

北部病院では昨年12月から医療スタッフ向けの新型コロナワクチン3回目の追加接種が開始されました。ワクチンを受けたスタッフの感想は、「1回目や2回目の時よりも副反応が軽い」でした。

★本年からは高齢者の方々の3回目追加接種や、5～11歳の1回目接種も開始予定です。

自治体より送付された接種券を受け取られましたら、予約のお電話を受け付けいたします

(予約受付時間 午後14時～)。



入院患者さまに面会ご希望の方へ

当院では新型コロナウイルス感染予防のため、面会方法を感染状況のレベルごとに定めており、感染リスクレベルにより面会基準が異なります。

レベル3以下の場合は制限付きの面会が可能です。以下の条件を必ず事前にご確認の上ご来院をお願いいたします。

- 新型コロナワクチンを**2回接種され、2週間経過**された方のみ面会可能です。
- 面会時には必ず**毎回新型コロナワクチン接種済証**または**接種証明アプリの提示**をお願いいたします(証明証の写真でも可)
- 面会可能時間は平日 14時～16時(土日祝は面会できません)
- 1回の面会にご家族2人まで。時間は10分以内でお願いします。
- お子様の面会はできません

患者さまをお守りするため、感染拡大予防のため、どうぞよろしくお願いいたします。



医療法人社団 原武会
北部病院

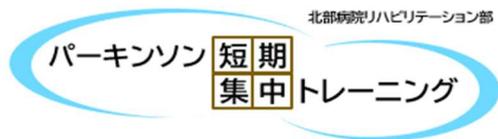
〒861-5515
熊本市北区四方寄町 1281-3
TEL 096-245-1115
FAX 096-245-1126

ほくピーカフェ再開

昨年12月18日（土）「第2回 ほくピーカフェ」(難病患者家族の会)を開催いたしました。コロナ禍で第1回目開催から2年弱も間があいてしまいましたが、ご参加の皆様（患者さま6名・ご家族2名）とさまざまな話題で話しが弾みました。普段の診察では言えない家庭での失敗談や心配事などを語っていただき、共感の輪が広がりました。同じ病気の当事者の方やご家族の助言や経験談がいかに患者さまご本人の心に響くかを再認識でき、大変有意義な会でした。次回の開催予定はまたホームページやブログなどでお知らせいたします。



パーキンソン病 短期集中トレーニング



北部病院リハビリテーション部では、「**パーキンソン病 短期集中トレーニング**」を行っています。短期間の入院で集中的にリハビリを行いながら機能向上に取り組むことができます。米国においてパーキンソン病への効果があると検証された「**LSVT LOUD**」と「**LSVT BIG**」というトレーニング法を実践していただけます。

* 認定療法士 LSVT LOUD : 1名 LSVT BIG : 2名

1日のスケジュール例



【リハビリテーションの目標】

- ① 今より「より大きく」体が動くようになる。
- ② 今より「よりしっかり」歩けるようになる。
- ③ 退院後も元気になった体を維持することができる。

食べる楽しみ応援プロジェクト

お食事の際にお悩みはありませんか？

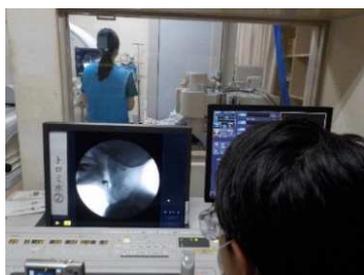
「いつまでも食べる楽しみをサポートしたい」その思いから各医療スタッフが連携し、多角的視点からその方にとって最適な食べ方やトレーニングをご提案いたします。言語聴覚士による「嚥下訓練」も行っております。

プロジェクトチーム：医師、看護師、管理栄養士、放射線技師、言語聴覚士、作業療法士

検査項目：嚥下評価、飲み込みの検査（嚥下造影検査）、口腔機能評価など

★このような方が対象です。

- 食事中によくむせこむ。
- 薬や食べ物が喉に残る。
- 摂食が困難になり体重が減っていく。
- 食べつかれて食欲がでない。



嚥下造影検査の様子



嚥下訓練の様子

専門外来枠

- 西洋薬で解消できない頭痛や体調不良はありませんか？
- うまく歩けなくなって困っていませんか？

★ 専門外来枠を新設いたしました。

(頭痛外来、歩行障害外来、女性内科外来、漢方外来)

- 頭痛外来、女性内科外来、漢方外来は**月曜日、火曜日午後**
- 歩行障害外来は**水曜日、木曜日午後**となります。

予約制になりますので、予約希望の方はお問い合わせください。

